



8
232

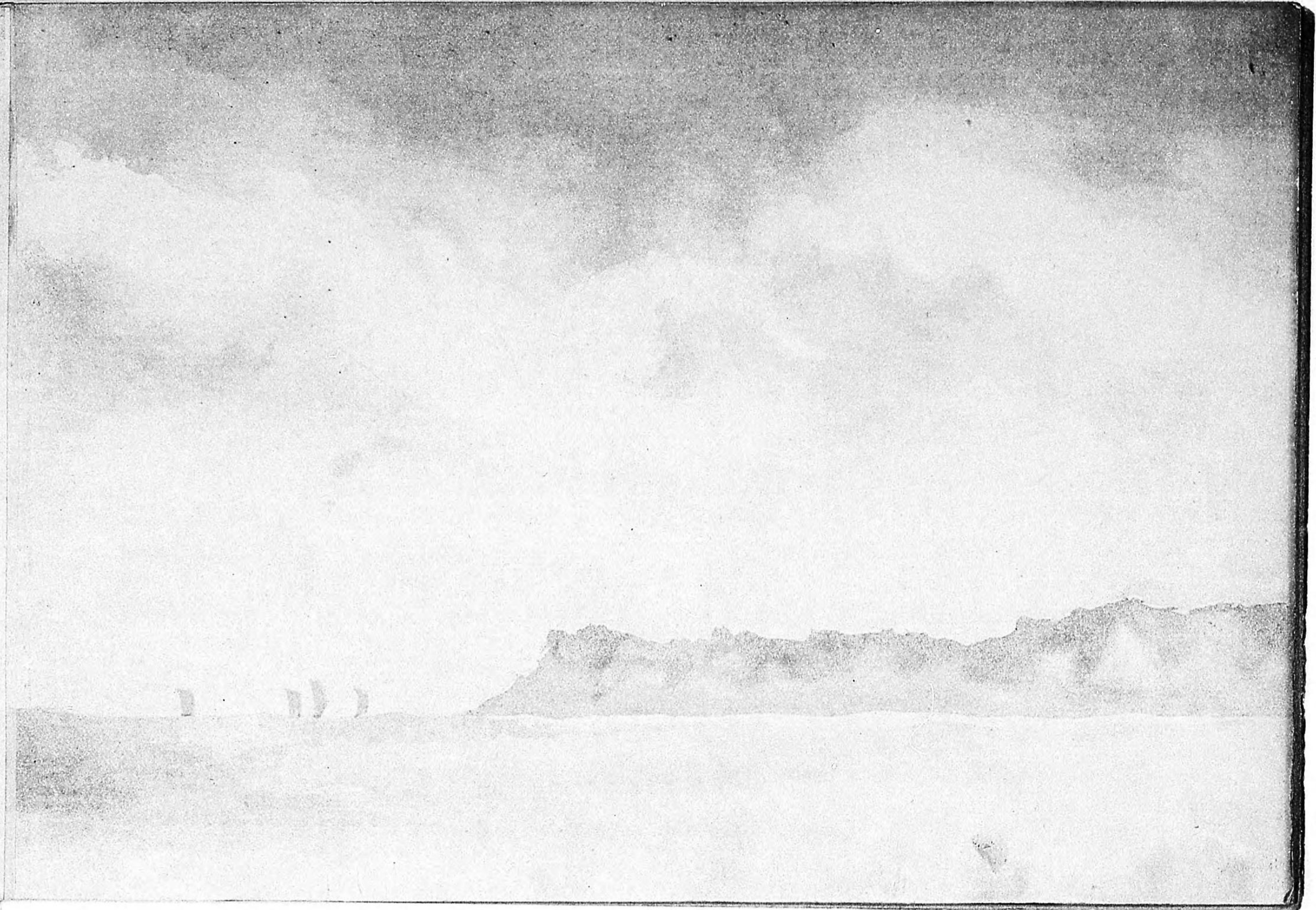
(M)



始



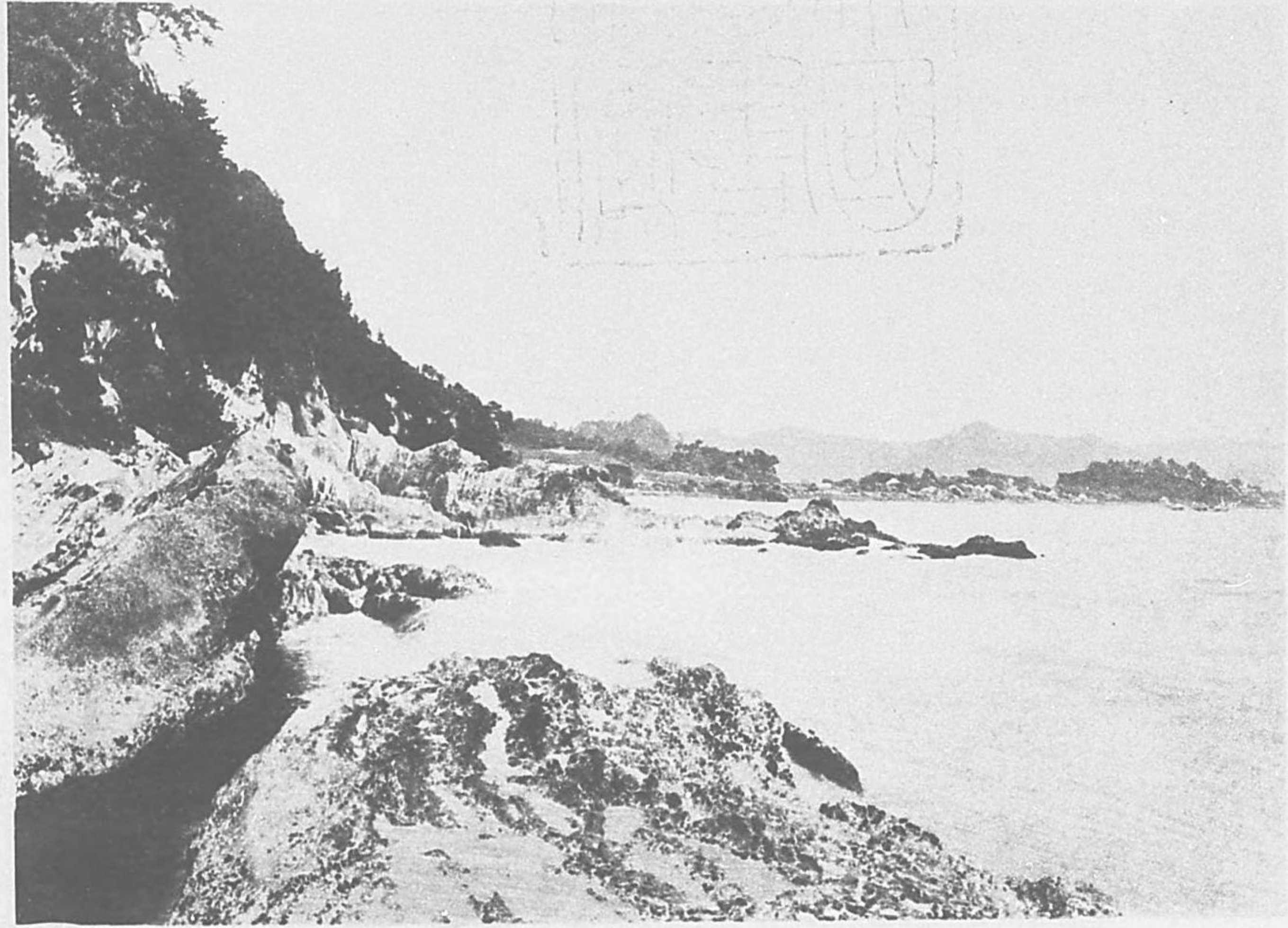




房州明金岬大毛鼻

房總の境をなせる鋸山の西端東京灣に斗出し
て遙かに相模の浦賀と相對する處之を明金岬
といふ一踏風曲懸崖の腰を透りて通する所岬
巖突兀怒濤衝激景の最も佳なるもの





氣仙郡金剛大手鼻

遠矣天懸瀟瀟寒の鼻も掛るよの
しりし一掃風曲懸道の刻も懸けし並する洞窟
つぎに二峰の節實を味攪する奥と云い金剛
鼻影の影ふがやる瀧山の西嶽東嶽に平出



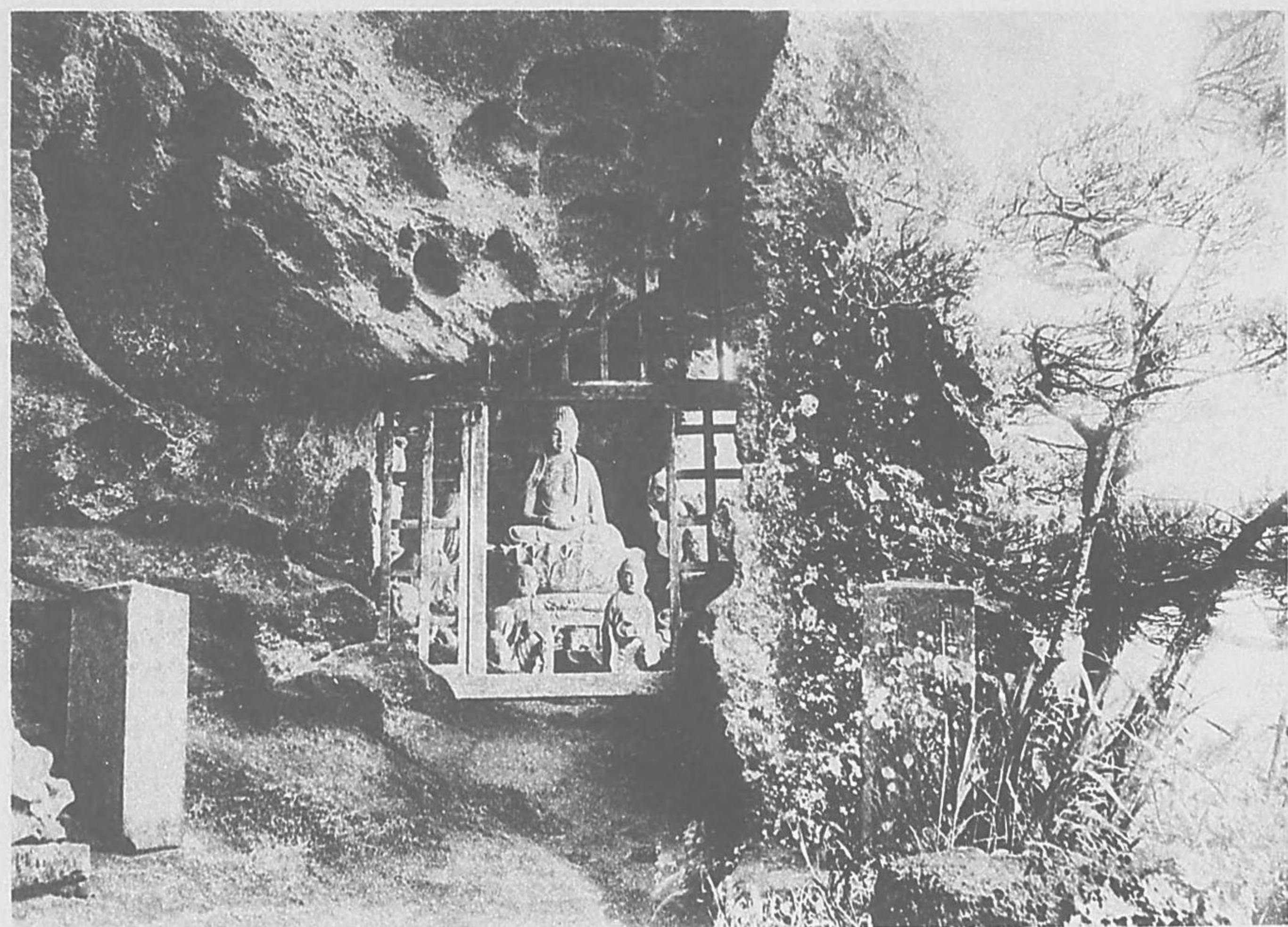
金谷道墜道

房總の國道中墜道多し南して
館山に通ずる所



鋸山日本寺無漏窟

鋸山は房總の界をなし山骨露出頂嶺分れて數峰となり恰かも鋸齒を列ねたるか如し其高さ一千百八十一尺麓より三十三町にして途すべし日本寺は其中腹にあり保田より躋ると約二十町聖武帝の勅を奉じ行基僧正の創建せし有名なる禪刹なり山上に十州一覽臺あり



妙本寺岬

遙かに洲の崎と相對して箱山

灣を抱擁するもの之を妙本寺

岬となす



館山海濱

館山港は一に鏡ヶ浦と稱し風靜かに水深く房
州第一の良港なり海上二島あり東にあるを鷹
の島といひ西にあるを沖の島といふ圖は館山
公園より望見せるものなり



北條海水浴

夏期東京より避暑の客多く菱
花灣の碧水は以て都門の塵垢
を洗ふべし





汐見臥龍松

箱山灣に突出せる汐見崎の碑上一寒寺の庭前

怪松一株あり俗に龍伏松といふ松の高八九尺

に過ぎずと雖も蟠柯偃蹇殆んど百坪の地を蔽

ふ房州人の常に他國人に誇る所の奇松なり

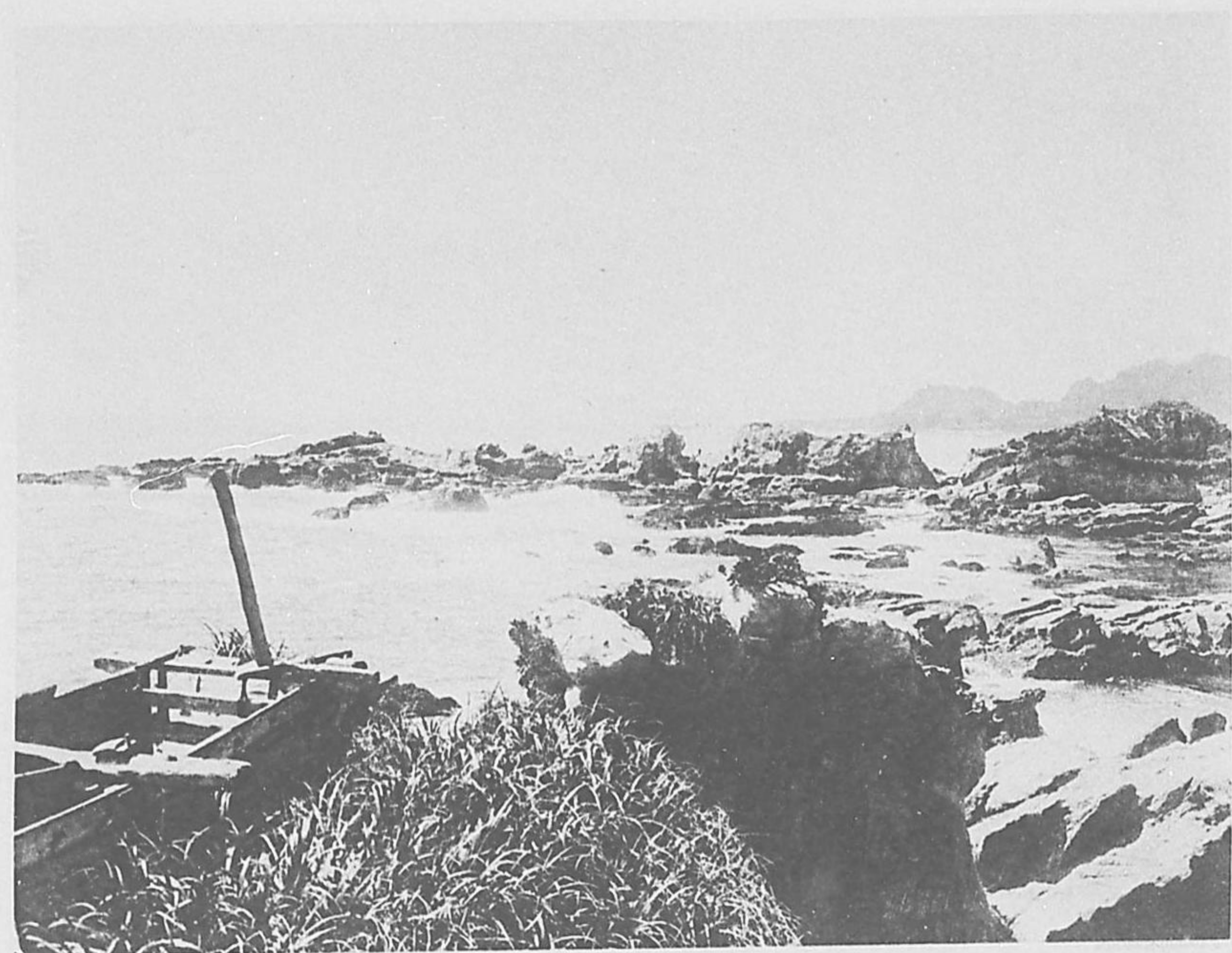


鹽見より鷹島を望む

鏡ヶ浦灣頭碧水に映する翠松

あるものを鷹の島とぞす此邊

一帯好畫料



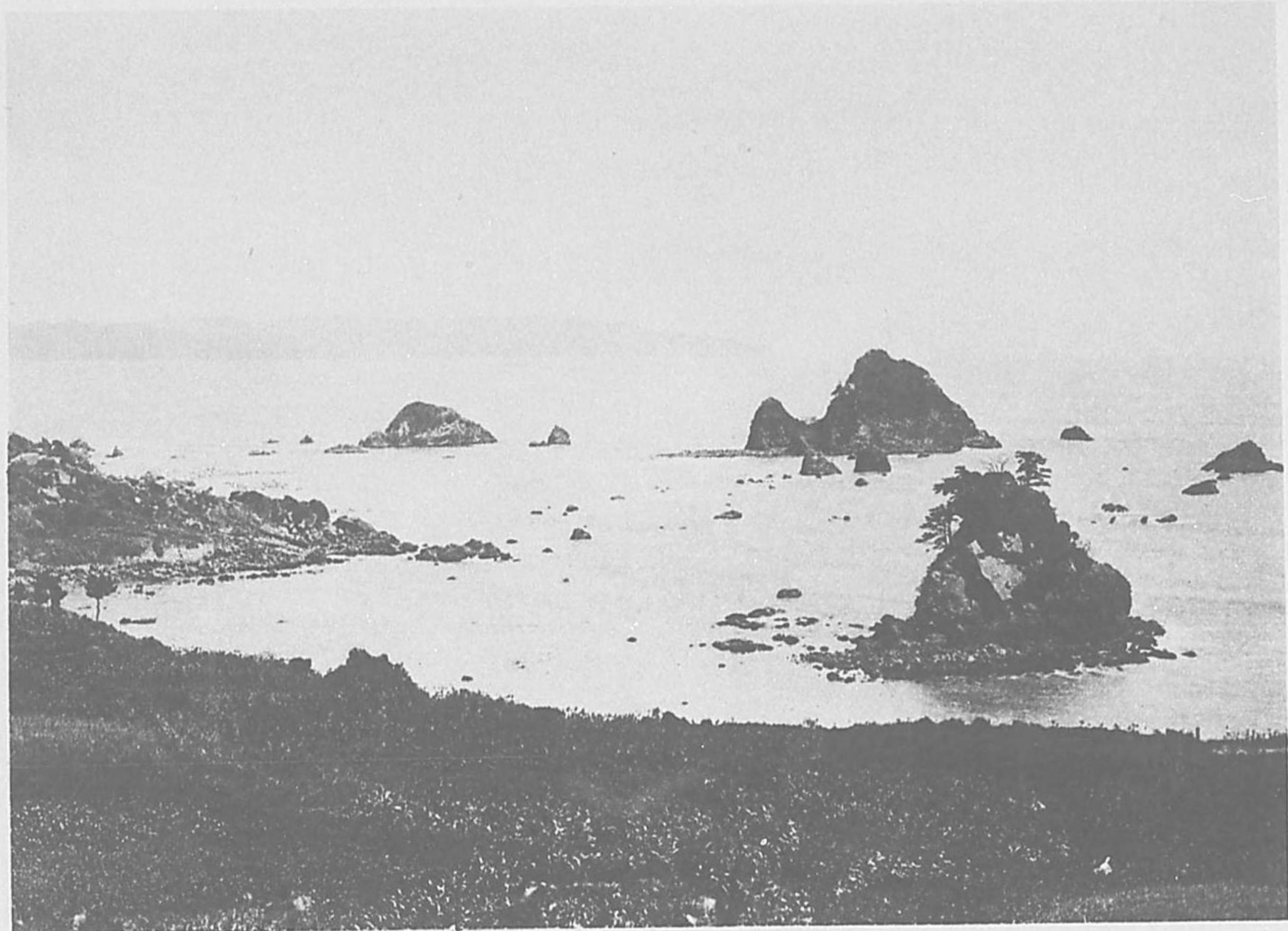
波太島附近激浪

房州の東海岸太平洋に面する
所是より以北鴨川に至るの間
島嶼星散し狂瀾怒濤之を搏つ
て矚目頗る壯なり



仁右衛門島

房州東岸大海村濱波太の海上二町許にある波
太島の事にして一に蓬ヶ島といふ周圍凡十四
町島上一人家あり平野氏といふ其先仁右衛門
なる者嘗て頼朝に功あり乃此島を得子孫連綿
今日に及べり



鴨川より大浦を望む

加茂川口にして箱山を距る約
九里白波奔濤の眺望姿を以て
限りませす

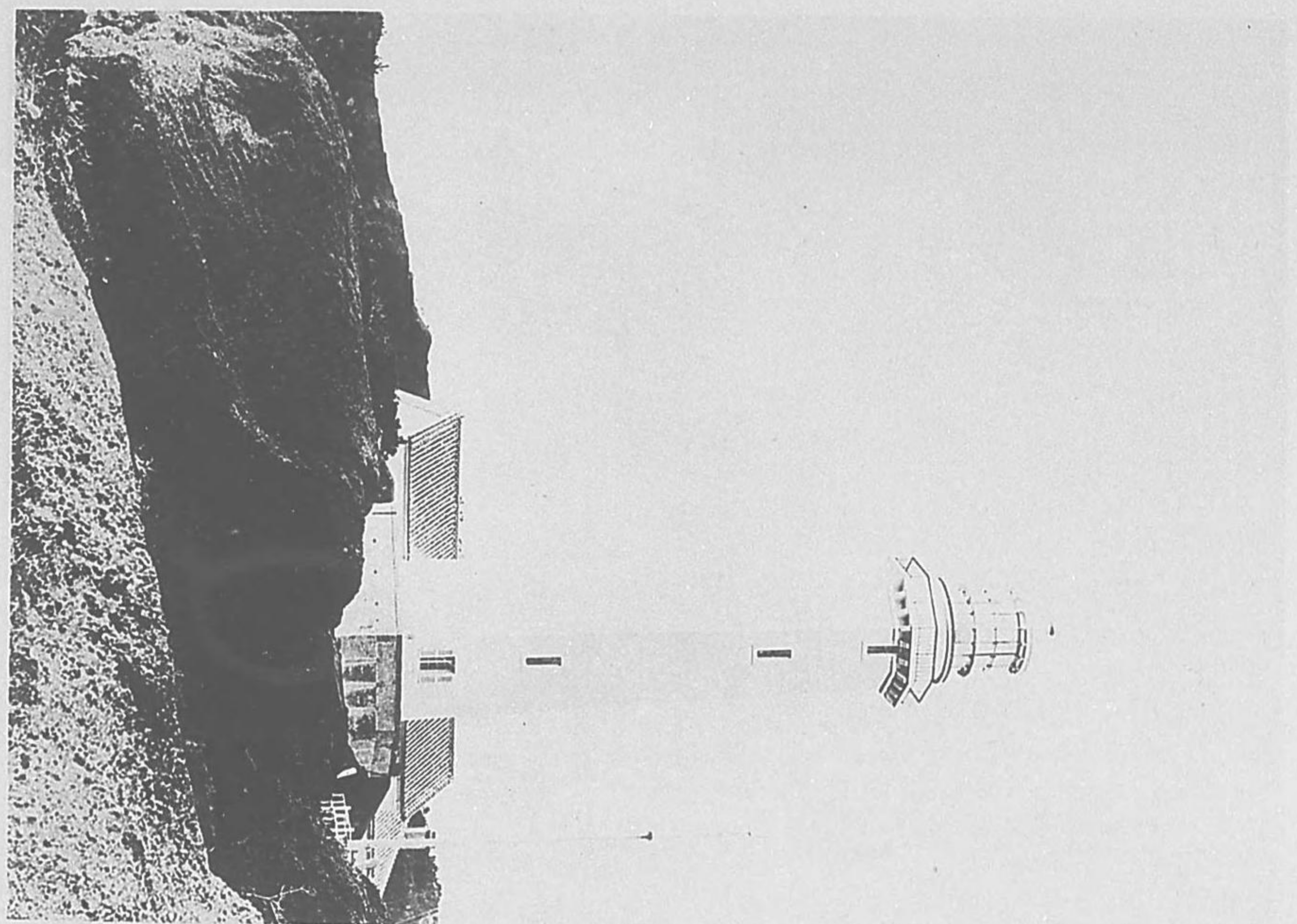


小湊誕生寺

日蓮生誕の地として有名なり
本堂には水戸黄門光圀寄進の
運慶作なる十界木像を安す

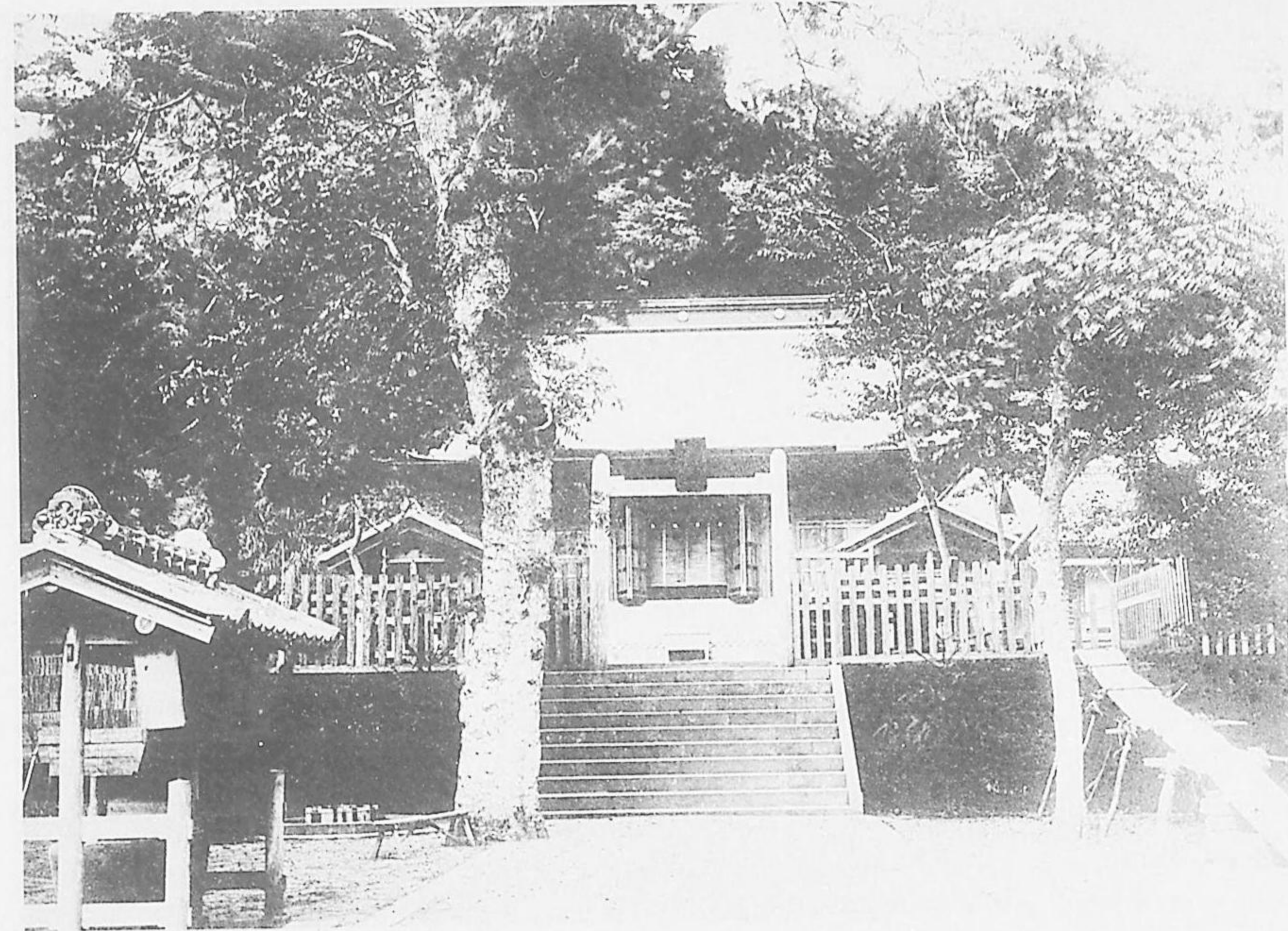
野島岬燈臺

白濱の地角外洋に突出するこゝ凡三町之を野
島岬とす岬頭一基の燈臺あり高九丈九尺海面
より十三丈三尺白色不動燈火にして光芒遠く
十七海里に達す岬下はこれ奇巖突兀怒濤之を
拍つて銀屑を散す



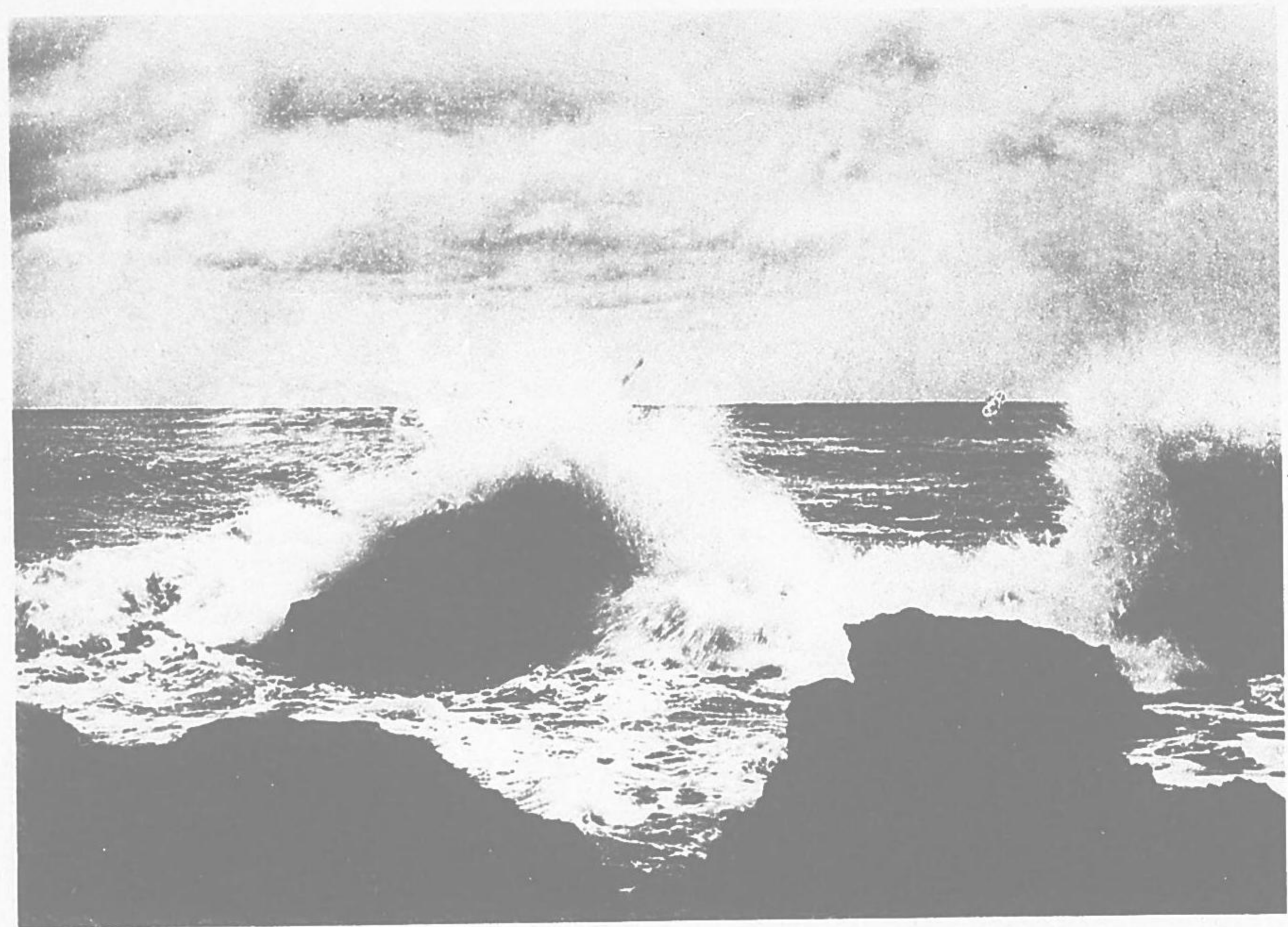
安房神社

富崎村にあり國內唯一の官幣
大社にして神武帝の元年創建
のよしにて天太玉命を祀れり



布良怒濤

安房の最南端にして波浪の猛
勢甚壯なり此地海岸望樓を置
きて東京灣口の見張所とす





上總八幡崎半年堂鼻

夷隅郡小濱の南方に崛起し海
中に突出せり天正年間鎗田美
濃守の居城なりしといふ北面
は即百尺の断崖

明治三十二年十二月三十日印刷
(旅の家土産第廿六號)
明治三十二年十二月十日發行
(非賣品)

發行兼印刷者
野上喜雄

東京市京橋區築地壹丁目五番地

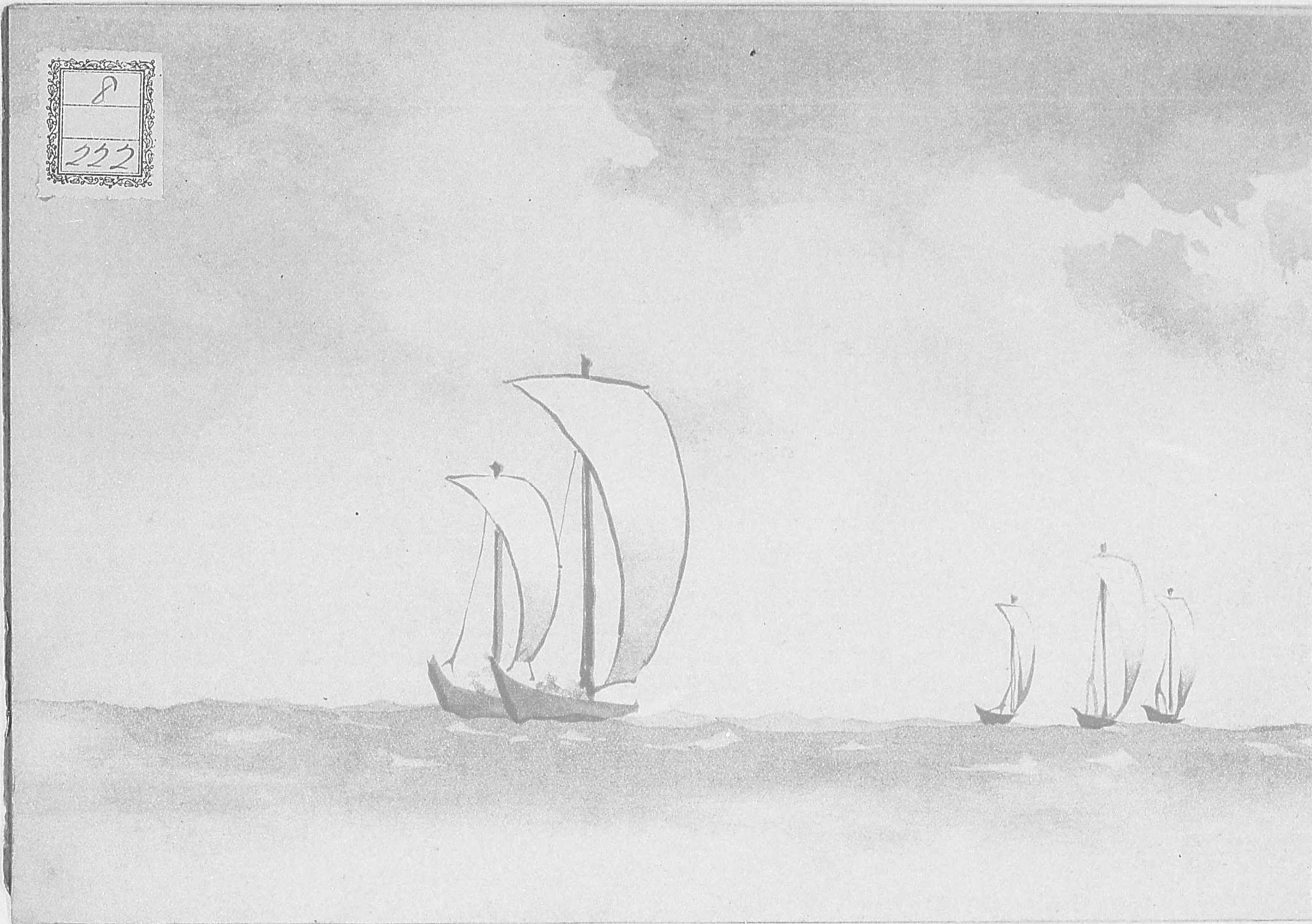
發行所
光村寫真部

神戸市北長狹通五丁目四十六番地

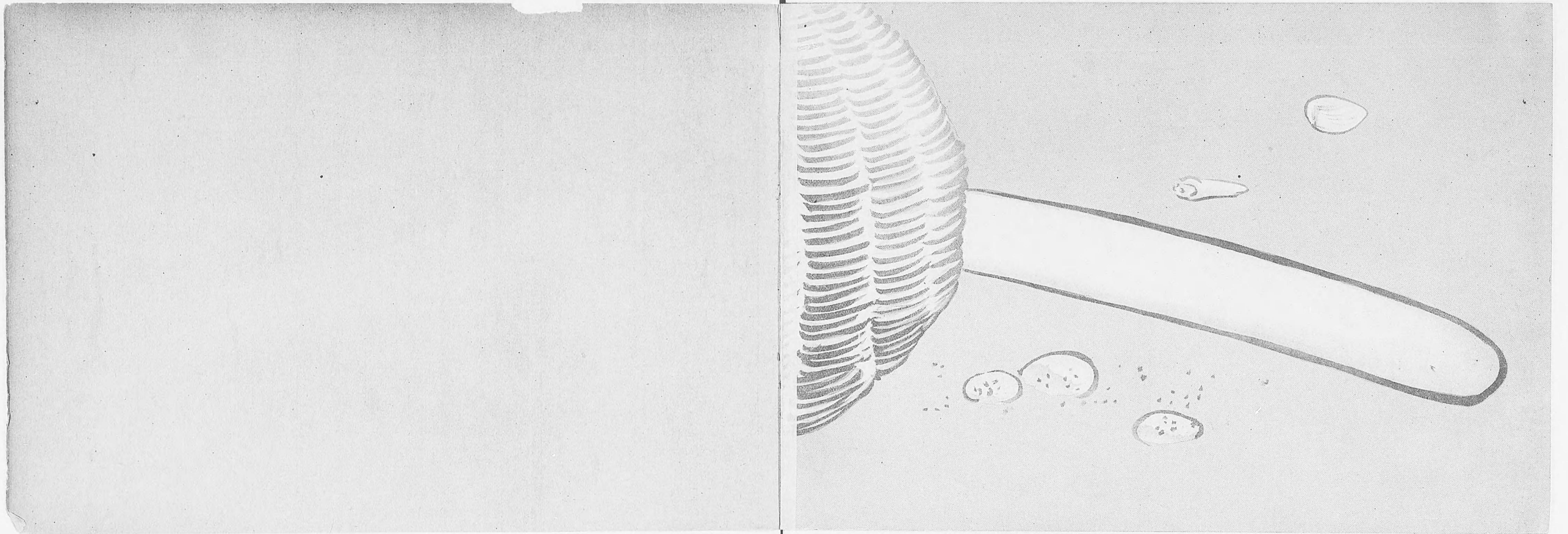
印刷所
光村寫真製版部

神戸市北長狹通五丁目四十六番地

8
222



Faint, illegible text or markings within a rectangular frame on the right page.



8
555

終

